



2016年7月19日

株式会社リクルート北海道じゃらん

北海道とリクルート北海道じゃらんがタイアップ 「6次産業化」の取り組みに関する連載開始 - 「北海道じゃらん」「観光会議ほっかいどう」 -

株式会社リクルート北海道じゃらん（本社：北海道札幌市、代表取締役社長：内海裕晃）は、「道産食材の販路拡大・北海道観光のPR」において、2016年7月より北海道とタイアップ事業を開始します。北海道農政庁が推進する「6次産業化」の具体的な取り組み事例を、月刊旅行情報誌「北海道じゃらん」および、観光業界向け季刊誌「観光会議ほっかいどう」にて連載企画として紹介します。

【概要】

2011年3月の「6次産業化法」施行後、同法に基づく事業計画の認定件数は2,178件（2016年7月12日現在）。うち、北海道は124件を占め、都道府県別で全国1位（2位兵庫県101件）となっています。そこで、6次産業化の取り組みを紹介し、道産食材の新たな魅力を幅広く発信することで地域活性につなげるため、「北海道じゃらん」（発行部数126,000部）および「観光会議ほっかいどう」（発行部数5,000部）で連載を開始いたします。

連載は、「北海道じゃらん8月号（7/19発行）」「観光会議ほっかいどう秋号（10/1発行予定）」から開始。旅行情報誌である「北海道じゃらん」では道民のお出かけ促進、観光業界誌である「観光会議ほっかいどう」では行政や観光関係者へ地域おこしのヒントの提供を目指します。ターゲットや特性の異なる2つの媒体で連載することで、6次産業化を軸に食の魅力を総合的にPRしていきます。

【連載内容】

「北海道じゃらん」

・タイトル：
おいしいを育て、おいしいを創る食のスペシャリスト
あのマチの地産地商ニストを探せ！

・内容：
道内で6次産業化に元気に取り組む生産者を、北海道じゃらんでは「地産地商ニスト」と名付けて、商品やサービスを通して、その人の思いを紹介する企画。毎月エリアを変えて、地産地商ニストを紹介します。また、同じエリア内で6次産業化にかかわるスポットも合わせて紹介することで、そのエリアの新たな楽しみ方を訴求し、読者が訪れるきっかけとなる企画とします。

<紹介予定の地産地商ニスト>

- ・ 8月号（7/19発行）では津別町の「〜かしば農場〜L・teやさいcafe」の柏葉晶江さん
- ・ 9月号（8/20発行）では豊富町の「あぐりネット宗谷 工房レティエ」の久世薫嗣さん

「観光会議ほっかいどう」

・タイトル：
（仮）知りたい！あのマチの6次産業化

・内容：
6次産業化による、地域を巻き込んだ地域おこしにフォーカスし、紹介する企画。さまざまなサポートやファンドも合わせて紹介することで、地域資源の付加価値を生み出す道内の6次産業化支援にもつなげていきたいと考えております。



（北海道じゃらん8月号誌面）



【本件に関するお問合せ先】
株式会社リクルート北海道じゃらん 担当 西村麻衣子
TEL: 011-219-2511 E-mail: koho_rhj@hokkaido-jalan.co.jp